



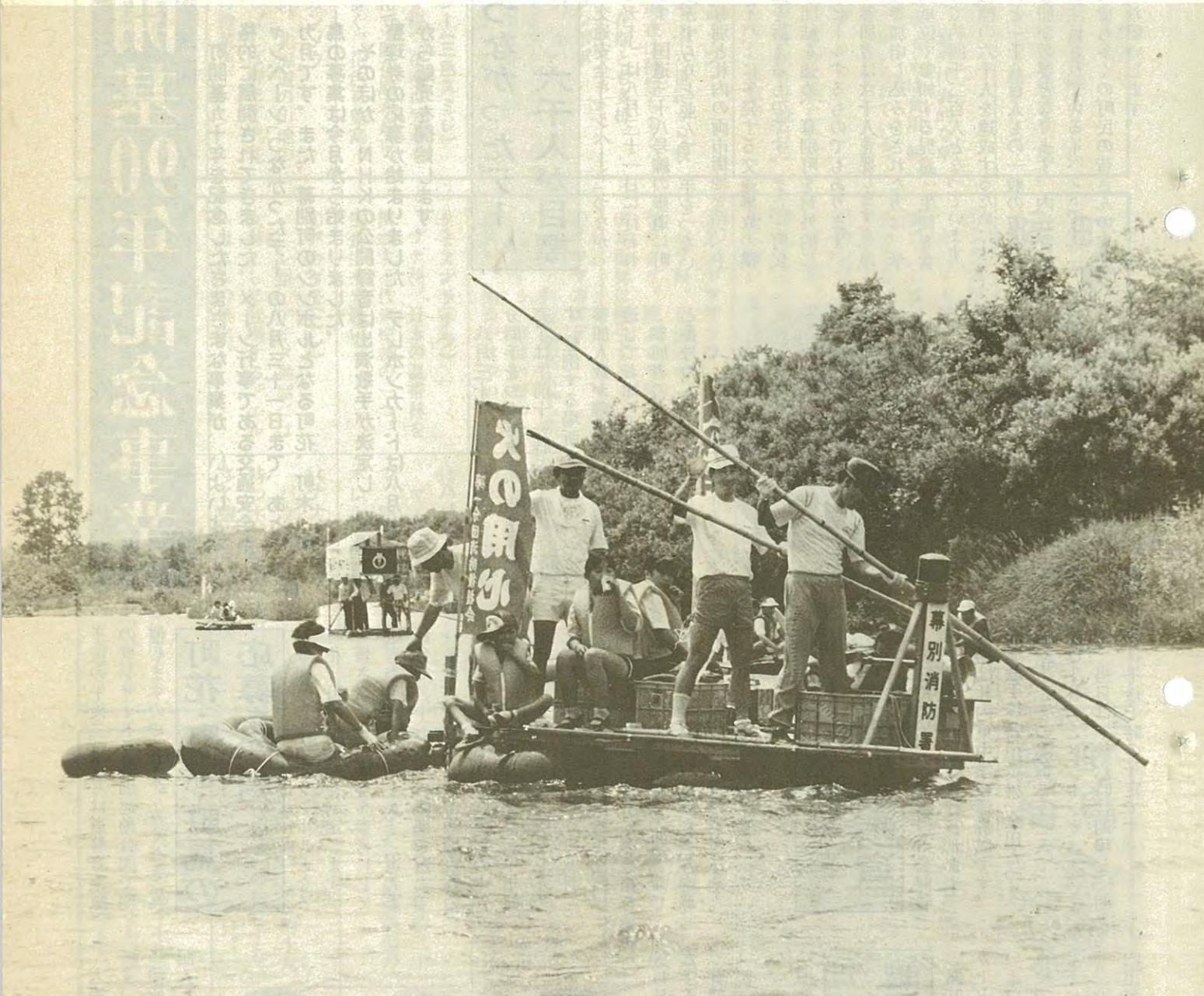
まくべつ

わたしたちのまち

(昭和61年7月1日現在)

人口	21,568	(-20)
男	10,577	(-21)
女	10,991	(+1)
世帯数	6,642	(-5)
一人のうごき (6月中) —		
転入	49人	転出 85人
出生	23人	死亡 7人

||||||| 生きる喜びを創造するまち・幕別町 (新総合振興計画) |||||



スリルと涼味を満喫

ようやく夏らしい天気になってきました。

涼しそうに川下りをするのは、サマーカーニバル86の一環として7月27日に行われた第5回猿別川イカダ下りに参加した皆さんです。

約20隻のイカダがコボレ坂から猿別橋までの7キロを川の流れに身を任せ、参加者は短い夏を心ゆくまで満喫していました。

61年

8

No.415

いよいよ近づく 8月31日

つながったデー



開基90年記念事業

町開基九十年を記念したさまざまな事業が、いよいよ本格的に展開されてきました。メイン行事である交通安全キャンペーン「つながったデー」の八月三十一日まで、あと一カ月です。また、幕別町のシンボルとなる町花、町木、町鳥の募集は今月から始まりました。

そのほか、NHKの公開録音は出演歌手が決定し、入場整理券の応募が始まりました。テレホンカードは八月七日から販売を開始します。

つながったデー 六千人が目標

交通安全キャンペーン「つながったデー」は八月三十一日に行われます。国道三十八号線の歩道に町民がずらりと並んで、手をつないで幕別と札内の両市街地を結び、ドライバーに多発する交通事故の撲滅を訴えるものです。また、町民の団結を強め、幕別町を対外的にアピールするものでもあります。

参加者は六千人を要しますが、現在参加申し込みをされた方は、学校単位で参加する児童・生徒を含めて約四千二百人となっています。目標の六千人を達成するためには、あと一千八百人も一般の方々の参加が必要となります。内外からも注目されているイベントです。一人でも多くの町民の皆さんの参加をお願いします。



参加者に渡されるバッチ

八月三十一日は、正午から約十分間手をつなぎます。歩道に整列完了は午前十一時五十分の予定です。整列する場所などについては、参加人数が確定後、各公区などを通じてお知らせいたします。参加者の方にはシンボルマークと番号の入ったバッチを当日会場

でお渡しいたします。このバッチの番号により、十月五日の「産業まつり」で抽選会を行い、九十人の方を幕別温泉ホテルに一泊招待いたします。また、交通安全キャンペーン終

町花・町木・町鳥の 応募を開始

了後の午後二時から道警音楽隊のコンサートを幕別運動公園で開催しますので、お楽しみください。幕別町の自然のシンボルとなる町花、町木、町鳥を制定します。皆さんからの応募を参考にして選考委員会で決定します。選考委員会で各十五つづつの候補を選んできますが(左ページ)、候補以外のものでも結構です。応募者の中から抽選で九人の方に開基九十年記念テレホンカードをお贈りします。応募期間は八月一日から八月二十日までで、役場一階住民係窓口、札内支所、糠内出張所に応募箱を置きます。応募用紙は今回の「おしらせ」に付いているほか、各応募箱のある窓口にも置いてあります。多数の方の応募をお待ちしています。

NHK公開録音 「ひるの散歩道」

NHK「ひるの散歩道」の公開録音は九月十日(水)に行われます。会場は札内東中学校体育館です。出演歌手は、村田英雄、金田たつえ、松原のぶえの演歌歌手三人で、演奏は小林力とメッセンジャーズです。当日は午後六時に開場し、開演は午後七時の予定です。

テレホンカードの 販売は8月7日から

開基九十年を記念したテレホンカード(五十度数)を八月七日からいよいよ販売いたします。限定九百枚で、一人につき一枚と限らせていただきます。価格は五百円で、役場住民係窓口、札内支所、糠内出張所でお買い求めください。

入場するには入場整理券が必要です。ご希望の方は、往復ハガキに住所、氏名、年齢、電話番号を記入し〒〇八〇 帯広市西五南七



松原のぶえ

金田たつえ

村田英雄

町花 候補



①スズラン
ユリ科。五〜六月に咲き、白い鐘状の小花の可憐さと芳香で愛されている。

②シバザクラ
ハナシノブ科。茎が地面をはって広がり、サクラのような小花が一面に咲く。

③エゾムラサキツツジ
ツツジ科。低木で高さ二メートル。花は淡紅紫色。耐寒性に富み、庭木に利用される。

④フクジュソウ
キンポウゲ科。早春に黄色い花を咲かせ、春を告げる花として親しまれている。

⑤スイセン
ヒガンバナ科。ヨーロッパが原産で江戸時代に日本に。花色は白、黄が主。

⑥エゾギク
キク科。夏の花壇用、特にお盆の仏花として古くから親しまれている。

⑦ミズバショウ
サトイモ科。湿地に群生する水草。白色花で、葉は美しい鮮緑色。日本原産。

⑧カタクリ
ユリ科。落葉樹下などに群生する。花は紫桃色で、球根からカタクリ粉をとる。

⑨ヒマワリ
キク科。夏の代表的な草花で一年草。タネは食用、飼料用として用いられている。

⑩サルビア
シソ科。夏から秋にかけて長期間花を咲かせ続ける花壇用草花。一年草。

⑪チューリップ
ユリ科。十六世紀から栽培され、現在は種類も多く、色、形、花期とも多様。

⑫エゾタンポポ
キク科。かつては北海道を代表するタンポポだったが、現在は山間地でしか見られなくなった。

⑬パンジー(三色スマイレ)
スマイレ科。花壇に欠かせない草花で、開花期が長い。品種も多く、花色も豊富。

⑭エゾカンゾウ
ユリ科。北海道の山地の草原にしばしば群生する。花は六弁の橙黄色。

⑮エゾスカシユリ
ユリ科。北海道に自生し、花びらは橙赤色で暗色のはん点がある。

町木 候補



①シラカバ
カバノキ科。代表的な陽樹で、しばしば大きな群落をつくる。生長ははやい。

②カシワ
ブナ科。適潤肥よく地に群生する。樹皮が厚く山火事に強い。果実はどんぐり。

③エゾヤマザクラ
バラ科。北海道の一般的なサクラ。肥よくて明るい広葉樹林に散生する。

④イタヤカエデ
カエデ科。落葉高木で、秋に黄葉する。葉はいびつな五角形。生長ははやい。

⑤ミズナラチラ
ブナ科。日本の温帯林を構成する代表樹種の一つ。生長はやや遅い。

⑥アカダモ(ニレ)
ニレ科。アイヌ神話には女神として登場する。エルムはニレの英名。

⑦カツラ
カツラ科。まっすぐに伸びた幹から、いっばいに枝をのばす。生長ははやい。

⑧カラマツ
マツ科。北海道で広く植栽されている。陽樹で生長はやく、寒冷に強い。

⑨コブシ
モクレン科。春先に白い花が咲き誇る。北海道に広く分布している。

⑩イチヨウ
イチヨウ科。中国原産で種子はギンナンと呼ばれ、広く植栽されている。

⑪イチイ(オンコ)
イチイ科。枝が密生してこんもりと茂って美しい。道東に多く、生長は遅い。

⑫エゾマツ
マツ科。アカエゾマツ、クロエゾマツの総称。北海道の木」に選ばれている。

⑬ハリエンジュ(アカシア)
マメ科。北アメリカ原産で、明治時代に日本へ。並木によく使われている。

⑭チナカマド
バラ科。北国のムードを持つ木。道内の市町村木に多く選定されている。

⑮エンジュ
マメ科。北海道に広く分布する落葉高木で、床柱などによく利用される。

町鳥 候補



①カワセミ
カワセミ科。全長約十七センチ。湖沼や川などの近くにすみ、「ツイー」と鋭く鳴く。

②アオサギ
サギ科。全長約九十三センチ。道内で繁殖する唯一のサギ。全身は青味をおびた灰色。

③オオハクチョウ
ガンカモ科。冬鳥として湖沼などに渡来する。全身が白く、一番大きな水鳥。

④ベニヒワ
スズメ科。スズメと同じくらいの大さき。額の赤色が特徴。冬鳥として渡来。

⑤アカゲラ(キツッキ)
キツッキ科。全長約二十センチ。赤と黒と白の中型のキツッキ。

⑥ムクドリ
ムクドリ科。全長約十九センチ。市街地などの林にすむ。群れになることが多い。

⑦ヒバリ
ヒバリ科。全長約十七センチ。農耕地や草原などにすむ。黄褐色の体に黒い縦斑がある。

⑧カッコウ
ホトトギス科。全長約三十五センチ。夏鳥として渡来する。体は灰褐色。

⑨カケス
カラス科。全長約二十七センチ。夏は森林、冬は平地に移動し、庭先にもくる。

⑩オジロワシ
ワシタカ科。全長約九十センチ。翼の幅が広く、尾は白いがオオワシよりは短い。

⑪ハクセキレイ
セキレイ科。全長約二十センチ。水辺や農耕地、人家付近にもすむ。尾が長い。

⑫ハヤブサ
ハヤブサ科。主に平原に住み、鳥類中最も速く飛ぶ中型のタカ。

⑬ウグイス
ヒタキ科。全長約十五センチ。尾が長目で、「ホーホケキョ」というさえずりは有名。

⑭シジュウカラ
シジュウカラ科。全長約十四センチ。黒い頭と白い頬が特徴。住宅地にも多い。

⑮ゴジュウカラ
ゴジュウカラ科。全長約十三センチ。尾が短いのでずんぐりとした感じに見える。

火柱に大歓声

火と水の祭典

サマーカリーニバル'86

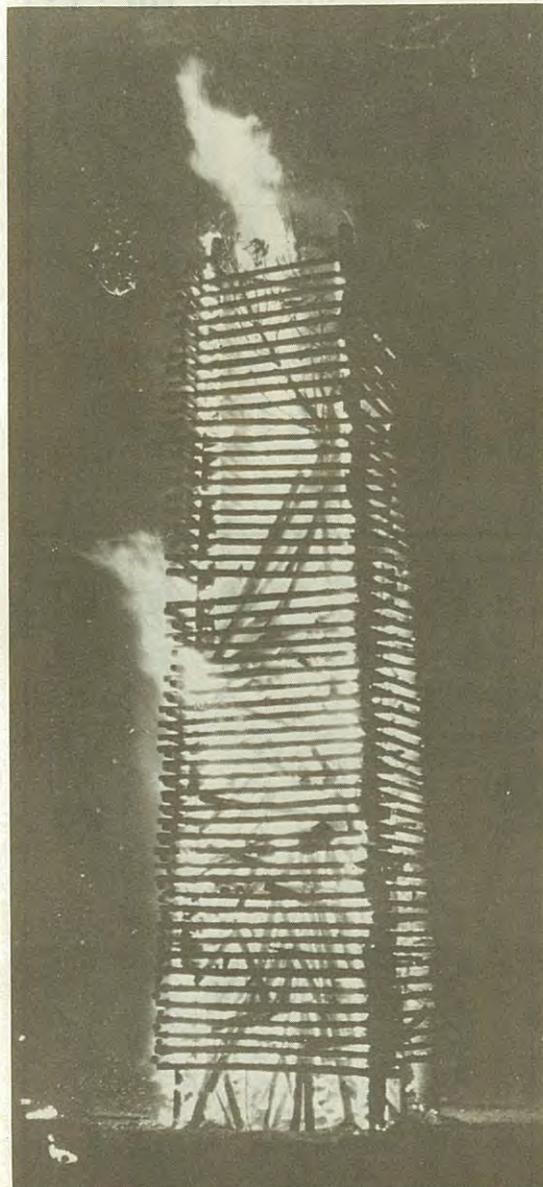


今年のジャンボカレーは999人分。食べれなかった人が千人目でした

幕別町の夏の恒例行事となったサマーカリーニバル86が七月二十六日、二十七日の両日、幕別運動公園と猿別川一帯で、「火と水の祭典」をテーマに行われました。

十二層の大キャンプファイヤーや九百九十九人分のジャンボカレーなどビッグな企画に大歓声が上がっていました。今年新たに登場したのは、町開基九十年を記念しての「開拓の灯」リレー。依田公園から会場までを、九十歳から一歳までの町民百五十六人が「開拓の灯」のランプをリレーし、キャンプファイヤーに点火しました。

そのほか、火の造形コンテスト、お化け屋敷、花火大会も行われ、約三千人の町民が楽しい夏の一夜を楽しみました。翌二十七日には猿別川イカダ下りが行われました。



今年のキャンプファイヤーはこれまでの最高で高さ12メートル



火の造形コンテストのオバQとゴジラ



大キャンプファイヤーにはさすがにビックリ



アンカーは1歳の小尾佳実ちゃん



吐月橋を渡る「開拓の灯」



「開拓の灯」のランプに点火する九十歳の西川勇次郎さん

夜空を焦がす



「オットト…」急流ではスリル満点でした



イカダ下りに登場した「つながった丸」



「それだけでは足りないみたいね。これも食べる？」



怖いものみたくさでお化けやしきに入ってみただけど……



「大変おさわがせしました」
オバケより



ジャンボカーには早くから長い列が…



「開拓の火」リレーに参加された皆さんです。暑い中ご苦労さまでした。ほかにも参加された方もいますが、写真が撮れませんでした。



三百十六頭の乳牛が入牧

町営育成牧場の現況

町営育成牧場は、昭和四十一年に造成されました。総面積五百六十五畝の中に、採草放牧地が四百九畝あります。

施設としては牛舎、乾草舎、農機具庫、監視舎などが、作業用機械としてトラクターなど二十三台があります。

町営育成牧場の機能は二つあります。一つは各農家の乳牛などを一定期間預かること(入牧)と、もう一つは町有家畜を飼育することです。

今年の入牧は、乳牛が五月二十

一日、肉用牛が五月二十三日に行われました。乳牛が三百十六頭、肉



広大な採草放牧地を有する町営育成牧場



さかした ひとみ
坂下 仁美さん (18歳)
南勢190
▼ありさわ商会▲
南太平洋の島で
のんびりしたい

幕別高校を卒業して、今年の春からここに勤めています。主に取り扱っているのは文房具、事務機器、書籍などです。最初は商品名を覚えるのに苦労しました。ようやく慣れてきたところですね。

休日には家にこもっている方ですが、たまにはショッピングなどを楽しんでいます。南太平洋の小さな島へ行ってのんびりするるのが夢ですね。

こんにちは

16

用牛は百一頭が入牧しました。

また馬産振興のために、今年から馬の入牧も始められました。七月一日から入牧が行われ、現在二十五頭(内仔馬九頭)が入牧しています。町有家畜としては、黒毛和種(肉用牛)と乳牛、綿羊を飼育しています。

黒毛和種は、六十一年四月一日現在で親牛(十八カ月以上の雌牛)五十頭、雌の育成牛(十八カ月以下)一頭、種雄牛一頭を飼育しています。親牛は約九割が年一回出産します。昨年度は四十五頭が生まれ、そのうちの三十九頭を売却しています。乳牛は二頭飼育しています。綿羊は、町営育成牧場の観光資



今後、繁殖が期待される綿羊

源としてや、肉の販売などを目的にサフォーク種の繁殖用綿羊十頭と種綿羊一頭を五十九年度に購入しました。今年の春には四頭の仔綿羊が生まれました。繁殖によりさらに頭数が増えれば、将来的には農家への譲渡も計画されています。

ふるさとへの便り… ⑤

もりた よしお
森田義夫さん (61歳)
(東京都世田谷区)



相川の空に響いた「カッコー」の声

ある朝、通勤で世田谷成城を歩いていると突然「カッコー」と聞こえてきた。立ち止まりあたりを

見回したが、その姿は見えない。しばらくして、樹上からまた一声聞こえた。「カッコー」の鳴き声は良く響きわたる。私の育った相川地区の初夏は、朝日が昇り澄みきった空にカッコーの声が遠くまでこだました。秋の豊作を最も期待している季節であった。

ふるさとで聞いたカッコーの声を思いながら、幕別のみなさまのおしあわせを心からお祈りし、また、お会いできることを楽しみにしております。(東京幕別会副会長・衆議院法制局勤務)

開基90年

あの場所、この場所、今昔

まくべつタイムトンネル ⑤



昭和41年ごろの猿別市街。猿別橋は道路と左に曲がった方にありました。



現在の猿別市街。道路も整備され、橋は道路の正面に架けられています。

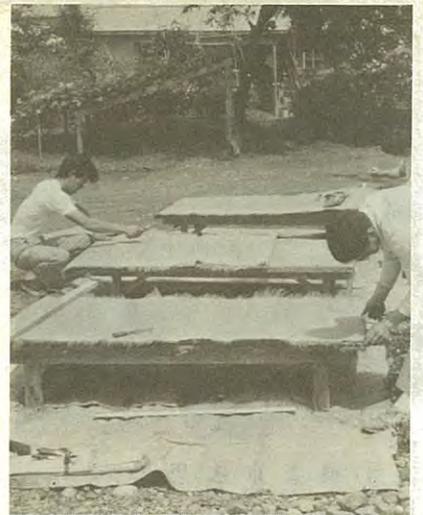
まくべつタイムトンネルの五回目は、猿別市街の変遷を紹介します。



幕別消防団が全道表彰

東十勝消防事務組合幕別消防団(大久保正司団長、団員120人)が道消防協会から優良消防団として表彰されました。防火クラブの育成や消防訓練の徹底、第2分団と第3分団の長期間にわたる無火災記録などが評価されたものです。

北村畳店札幌支店(札幌中央町)が独り暮らしのお年寄り宅の畳の表替えの無料奉仕を行いました。札幌市内に店舗を出した昨年からは始めて、今年も七軒、四十二枚の畳の表替えを行いました。同店ではこの奉仕活動を十年間続けたとのこと。



北村畳店が表替えの無料奉仕



自慢のノドを競い合う



九本栄一さん(依田)が作詞作曲した「ごんごん芭句」と十勝牛方節の競演大会が六月二十九日、働く婦人の家で行われました。この大会、ごんごん芭句は十回目、十勝牛方節は六回目を迎え、百八十人の出演者が自慢のノドを競い合いました。

第4回町社会福祉協議会長杯ゲートボール大会が7月17日、運動公園ゲートボール場で行われました。26チームが出場し、予戦リーグ、決勝トーナメントが行われ、熱戦の結果、駒島南チームが初優勝を飾りました。

駒島南チームが初優勝



町民みんなの関心事

良い子を育てるために⑤

町児童生徒健全育成推進委員会

明るくなごやかな

家庭づくりは親の役割

幸せでしつけがよくいき届いている家庭の雰囲気はすばらしいものです。

家族がお互に励まし合い、ユ一モアがあり、笑いが出る明るい家庭こそ親も子供も願っている家庭です。そんな雰囲気をつくり出すことは、親の大切な役割です。家庭づくりに努力をしている親の姿を見て、子供は親を尊敬します。いいお父さん、いいお母さんだなぁと子供に思われたらしめたもの。よいしつけができていきます。

自分のことは

自分でやる子

自分のことは、自分でできる子に小さいうちから育てたいものです。せっかくなので自分のことを自分でやろうとしている子供を見て、親がおそい、とろいなどと子供の仕事を奪ってしまう様子を見受けません。

子供が自分からやろうとしている時こそ一番よい機会です。おそくても、とろくても子供が

やりとげるまでじっくり頑張らせ、じっと我慢の親になってはいかがでしょうか。

子供が自分で仕事を完成させた時のうれしそうなお顔。そんな時に「よくできたね」と親からほめられたりしたら本当に喜びますし、また頑張るぞーと意欲を燃やすことと思います。

またこんなこともあります。○●しなさい、××してはいけませんなどと、いつも命令されてばかりいる子は、だれかに命令されるまで友達とも遊べずに黙ってぼんやりしていることもあります。自分から進んでやる子にしておきたいですね。

思いつき

元気に遊べる子

遊びは子供の生活、仕事です。遊び方がわからなかったり、友達の中に入って行けない子供がいます。

大人相手の遊びだけでなく、戸外でよその子と遊んだり、一人遊びでも自分から遊びを見つけ、思いっきり元気で遊べる子にしつけないものです。

ようこそ、幕別町へ

東郷町から高森町長らが来町

本町と友好町の盟約を結んでい
る宮崎県東郷町から六月八日、高
森文夫町長らと五人の青年が本町
を訪れ、札内福祉センターで歓迎
式が行われました。

東郷町は宮崎県の中部に位置す
る農林業の町で人口六千三百十七
人。歌人・若山牧水の生地として
知られています。本町に牧水の歌
碑があることが縁で、昭和四十九

年十二月に友好町の盟約を結んで
います。
歓迎式には林町長ら町の代表者
と町青年団体連絡協議会の若者が
出席し、和やかな雰囲気の中で懇
談、交流を深めたあと、会場を幕
別温泉の焼き肉ガーデンに移して
懇親会が行われました。

東郷町からの青年五人は、それ
ぞれが町青年団体連絡協議会の青

年五人の家庭に八日と九日、ホー
ムステイし、農業実習を体験した
り、町内の施設を見学したりし、十
日に離町しました。
東郷町の町長が幕別町を訪れた
のは今回が初めてです。
十一月には幕別町の青年が、東
郷町を訪問する予定です。

「寄付ありがとう」ございます

町へ：
▽佐藤一馬さん(札内春日町)か
ら十万円 △株式会社沢井工業 木
藤隆光代表取締役)から五十万円
■社会福祉協議会へ：

ひと

17

もう一度行きたいですね

中国1人旅を終えた
藤平 早苗さん
(本町23・27歳)

今年の四月十九日からリュック
サック一つを担ぎ、中国のペンパ
ル(文通仲間)を訪ねながら中国で
女性一人旅を続けていた藤平早苗
さんがこのほど旅を終え、無事帰
国しました。藤平さんに一人旅の
ようすを語っていただきました。

◇ ◇

「以前から中国に興味があ
ったことと、文通相手に会
って直接話をしてみたいと
思ったのが動機です。香港、
広州、桂林、重慶、西安、北
京、瀋陽、ハルビン、大連
などを旅してきました。印
象は、とにかく広いこと
ですね。人と自転車が多いの

にも驚きました。治安は思ったよ
り良かったですね。全然、不安は
ありませんでした」

◇ ◇

「ハルビンや大連などの旧満州地
方では、反日感情が心配でしたが
とりこし苦労でした。行く先々で
とても親切にしてくれました。
万里の長城や桂林の山水画のよ
うな景色も印象的でしたが、中国
の人々の活気であふれる自由市場
をのぞく方が面白かったですね。
随分あちこち行つたつもりでも
地図におとしみするとそんなに
行ってないんです。機会があればも
う一度行きたいですね」

◇ ◇

昭和三十四年五月生まれ。両親
と妹、祖母の五人暮らし。



事故の防止に協力

帯広警察署長
川島 繁



今年六月までに発生した帯
広警察署管内の交通事故は三百
五十六件、死亡者六人、負傷者
五百二十九人となっております。特
に目立つのが六十歳以上の高齢
ドライバーの事故が増している
ことです。昨年は年間で五十
二件だったものが、今年は半年
で四十件も起きています。
お年寄りの事故を防ぐために、
次の点を守ってください。

○バイクや車を運転する場合
は体の調子を考え、よくない
時は絶対運転しないこと。
○自転車やバイクで道路を横
切ったり右折するときは、必
ず一旦止まって後方の安全を
確認すること。
○バイクに乗るときは、ヘル
メットを必ずかぶること。
○夕方暗くなってから出かけ
る時は、夜光反射材を必ず身
につけること。
なお、交通安全協会が夜光
たすきなどをあつせんしてい
ますので、お買い求めの上、着
用することをおすすめします。
(役場町民課が窓口です)

○歩いて道路を横断するとき
は、信号をよく守り、横断歩
道を利用すること。
以上の五項目を守り、交通事
故の防止にご協力をお願いします。

町議会 議員 岸上利雄さんが逝去

かねてから病氣療養中であり
ました町議会議員・岸上利雄さ
ん(古舞・七十歳)が七月二十二

日、お亡くなりになりました。こ
こに謹んでご冥福をお祈り申し
上げます。なお、葬儀は町議会
議員会と古舞公区の手合同葬で執
り行われました。